

2021

4月号

あさお市民活動レポート



発行元：認定NPO法人あさお市民活動サポートセンター

Asao friends

麻生区地域コミュニケーション活動支援事業

2020年度実施報告会と、
2021年度応募者公開プレゼンテーションを傍聴しませんか

麻生

区では「地域コミュニ

ティ活動支援事業」を2008年度から毎年実施しており、今までに、多くの団体がこの制度を活用して活動資金の助成を受けています。

応募できる団体は、麻生区に活動拠点があり、メンバーが5名以上の団体で、気軽に参加でき、地域の新たなコミュニティづくりにつながる事業(助成は3年まで)となっています。

報告会、応募者公開プレゼンテーションともに自由傍聴なので麻生区で活動している団体の活動ぶりを知る良い機会となります。



2020年度プレゼンテーションの様子

2020年度 実施報告会

日時 4月8日(木)

13時～14時30分

◆場所 麻生市民交流館やまゆり会議室

【参加団体(順不同)】

① あさお和風の会

② 「和風つくりでコミュニティ作り」

こどもしんぶん部

「こどもしんぶん」で地域の魅力を再発見

※傍聴定員 先着10名



2020年度支援事業に選ばれた2団体「あさお和風の会」(右)と「こどもしんぶん部」(左)が事業計画に基づき区内で活動

2021年度

応募者公開プレゼンテーション

日時 4月15日(木)

13時30分より

◆場所 麻生区役所4階第1会議室

【参加団体(順不同)】

① 特定非営利活動法人岡上アグリ・リゾート

② あさお和風の会

③ 音楽ユニット Pentas

④ こどもしんぶん部

⑤ 一般社団法人 働くしあわせプロジェクト

⑥ 平和を願う会

※傍聴定員 先着20名

団体名	事業名
特定非営利活動法人 岡上アグリ・リゾート	岡上で「地域の伝統野菜」を育てよう!!
あさお和風の会	和風つくりによるコミュニティ作り
音楽ユニット Pentas	音楽ユニット Pentas による「Sing! Move! Smile!」コンサート♪
こどもしんぶん部	こどもしんぶん」で地元の魅力を再発見
一般社団法人 働くしあわせプロジェクト	森のようなまちづくり ～映画「人生フルーツ」を観てコミュニティガーデンをつくろう!～
平和を願う会	平和を願い実現するための集い

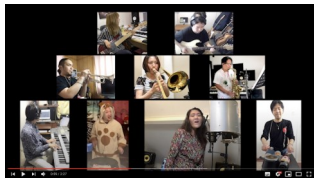
かんたん！インターネットで動画を配信

ニューリリアンサンプルはジャズの演奏が好きな団体であり、コロナ対策をしながら練習しているが、発表の機会が減ってしまった。代表の西村貴行先生が練習への意欲をなくさないために動画を配信しているという聞き、その方法を取材したので手順を説明する。

はじめに、テンポを合わせるデモ音源をイヤホンで聞きながら各自が演奏し、スマホをスタンドに立てて録画する。データは大容量なのでギガファイル便などの転送サービスでやり取りする。デモ音源のはじめに秒読みなどの合図を入れ、途中でテンポを刻むクリック音を入れると演奏が揃いやすい。

次に、パソコンに取り込んだ動画は編集ソフト（無料あり）で音を表示し、その音の波形で演奏のタイミングを合わせ、音の大きさも調整しながら一画面に編集する。（要領はソフトによる）この作業が一番大変なので2、3人からはじめ、慣れたら増やしていく。

できあがった動画はYouTubeで配信するので、まず専用のアカウントをとり、一般の人も視聴できるようにアップロードする。手順は（※注1）参照。そのあとは動画を投稿するたびに自動作成されるURLを市民や知人にSNSやメールで知らせ、クリックすると視聴できる。



編集後に映像に切り替えて配信された動画



音の波形による編集画面
背景が青の基準に対して、
黒の3人のタイミングと
大きさを調整した

DATA

ニューリリアンサンプル

<http://www.westernstudiovillage.net/>

取材・文 区民記者
中島 久幸

音を重視する西村先生は、各自が収録するときから音はマイクとオーディオインターフェースを使ってDAW（※注2）で録音し、映像は4Kまたはハイビジョン撮影が可能なスマホで録画。各プレーヤーから音と映像データを受け取ったあと、音は各楽器の音量バランスに違和感がない状態までDAWで調整し、映像は明暗が揃い、ため、明るさのバランスを編集ソフトで調整する。編集ソフトにはプレミアプロ（1848円/月）を使っている。この1年で11回配信し平均800回、最大3000回視聴された。

技術的質問や入会の連絡は区民記者中島（TEL 044-987-1889）まで。

写真提供：西村貴行氏 （※注1）<https://gockyz.com/archives/931>（※注2）Digital Audio Workstation：録音、編集、ミキシングが可能なソフト

「映像による情報発信」やまゆりの新たな取り組み

開

設以来、麻生区の市民活動の拠点として中心的役割を担ってきた麻生市民交流館やまゆり（以下、やまゆり）。人と人との接触が制約されるこのコロナ禍において、やまゆりでも講座やイベントの中止が相次いだ。世の中の動きも、最近では講座やイベントなどもインターネットを使ったオンライン開催にシフトチェンジし、ネットを利用した映像配信、情報発信が盛んになってきている。

このような状況に対応し、市民活動を絶やさないために何かしなければいけないと危機感を感じた植木昌昭理事長（認定NPO法人あさお市民活動サポートセンター）の提案により、やまゆりでも映像による情報発信に取り組む運びとなった。

とりあえずのアイデアとしては、やまゆり楽芸会（音楽などの発表会）のWEB開催、やまゆりクラフト展（美術・手芸品などの展示会）のネット配信、役立つ講座のリモート有料配信などがある。

また、ノウハウが蓄積されてきたならば、落語や演劇などの有料配信、利用登録団体のPR動画配信なども考えている。

さらに、コロナが収束した場合、リアルな会場とネット配信の両面での活用など構想が膨らむ。

「やまゆりにも変化と新たなつながりが必要。これからは企画力が大事になる」と植木理事長。新しい機器も購入し、やまゆりは今、映像による情報発信という新たな取り組みにたいして着々と準備を進めている。



映像による情報発信にむけて「やまゆりテック」（やまゆりの技術担当チーム）を中心に準備が進められている

取材・文 区民記者 丸山 浩一郎

ダウン症を知っていますか

「ぐるうぶ・ひよっこり」代表 伊藤眞理子さんは、麻生区、多摩区在住のダウン症児（※注）の親の会だ。来年で設立30年を迎える。会の名称は「神様のいたずらで、家族の宝物である子どもたちがひよっこりやってきた」という思いに由来しているという。

コロナの前は、カフェ、ランチ会、会報発行などが活発に行われ、そのどれもが楽しく、また貴重な情報・経験を交換し、支えあう場だったという。

コロナのため、対面の活動は休止中だが、会報は従来どおり年6回の発行。紙面には、子どもたちが誕生日を迎えた喜びや、保育園などにとっても楽しく通っている様子、友だち、保育士、関係機関への感謝など近況を伝えるほか、各種セミナーやイベント情報も多数掲載され、会員に貴重な情報を提供している。最近、はじめてのオンライン講演会も開催した。今後もコロナに負けず、工夫をこらして活動が続けるとい

う。

伊藤さん、内村さんは「気持ちの優しい子が多く、成長を感じる喜びもある。悩みのある方は相談してほしい」と笑顔で語っていた。



打ち合わせを行う代表の伊藤さん（左）と会報担当内村さん（右）

（※注）ダウン症の特性として、筋肉

の緊張度が低く、多くの場合、知的な発達に遅れがある。発達の道筋は通常とほぼ同じだが、全体的にゆっくり発達する。心疾患などを伴うことも多いが、医療・・・教育が進み、最近ではほとんどの人が普通に学校・社会生活を送っている。600～800人に1人の割合で生まれるとされている。（日本ダウン症協会HPより）なお、知的障がいについては、「幅がとても広く、ダウン症の症状として・・・定義するのは難しいとされている」（大阪医科大学小児科名誉教授 玉井 浩氏）との見解もある。（両稿とも引用に当たり字句を要約した）

DATA

ぐるうぶ・ひよっこり

代表：伊藤眞理子（いとう まりこ）

連絡先：marico54m@gmail.com（伊藤）

kumitown@ybb.ne.jp（内村）

設立：1992年

会員：麻生区、多摩区在住の60家族

会費：2160円／年（一括払い）

活動日時：（会報を除き休止中。要問合せ）

活動場所：（川崎市北部地域療育センターほか）

取材・文 区民記者 仲原 照男

デジタル超初心者向け Zoom講習会開催



Zoom講座学習中の教室

写真提供：川崎市麻生市民館

新型コロナウイルスの感染拡大で人と人との交流が制限されるなか、新たな交流や学習の場となっているのがオンライン講座。その状況を受けて重要性を増しているのが、Zoomをはじめとするオンライン会議システムだ。そこで、新しいデジタル技術を敬遠しがちなシニア世代を対象に、オンラインについて学べる講習会が麻生区でも目立つようになってきた。

川崎市麻生市民館（以下 市民館）によると、「オンライン講座は、来館しなくても自宅で受講できるなどの利点があり、今後も需要が増えていく」（船津真生・麻生市民館社会教育振興係長の談話）と考え、いち早くオンライン会議システムZoomの操作方法を学ぶ講習会をはじめた。とくにシニア世代のデ

タル超初心者向けにZoom入門講座を開始したのはこの2月。これからでもできる限り初心者を対象とした講習会を開催し、さらにオンラインで提供する各種講座を充実させていく構えだ。

一方、川崎市麻生老人福祉センター（麻生区金程）でも、60歳以上を対象に「Zoom基礎講座」を3月に実施した。申し込み初日に定員の何倍もの人びとが同センターに並んだところからみて、オンラインへの関心はシニア層でもかなり高いようだ。

この流れに沿って麻生市民交流館やまゆりでも、おもにママさんを対象にした「Zoomはじめてのセミナー」（定員15名、会費500円）を5月27日（木）14時から開催する。講師の伊藤まゆみさんは、「育児講座・おやこイベントなど、最近ではオンラインを使うケースが増えている」と語る。

問い合わせ先

●川崎市麻生市民館

住所 麻生区万福寺1-5-2

電話 044-951-1300

メール 88asaosi@city.kawasaki.jp

●川崎市麻生老人福祉センター

住所 麻生区金程2-8-3

電話 044-966-1549

メール rosen@asao-shakyo.com

●麻生市民交流館やまゆり

住所 麻生区上麻生1-11-5

電話 044-951-6321

取材・文 区民記者 新田 武明

新たなつながり、模索して ―舞台やライブ、配信やDVDでも

出演者と観客が一体となって盛り上げていくのが演劇などの舞台芸術だ。ただ、コロナ禍のもとでは人々が劇場に足を運ぶのもままならない。そこで、オンライン配信などの新たな形がさまざまに試みられている。

「しんゆり・芸術のまち」の核となっている川崎市アートセンターでは、主催する演劇公演「しんゆりシアター」（アルテリオ小劇場）で、2回にわたってオンラインによる生中継を行った。まず昨年12月に「桜の園」で



生中継された「グスコブドリの伝記」公演。実際の舞台でも、出演者がマスクをするなどの徹底した感染対策が施された（提供：川崎アートセンター 撮影：関口淳吉）

試み、地域住民でつくる「劇団わが町」が2月に行なった「グスコブドリの伝記」も4回公演のうちの1回を配信した。割安の配信チケットは大歓迎され、150枚近くが売れたという。舞台費を抑えるなどの工夫で配信費用を捻出したのは、「市民の芸術活動を止めない」「鑑賞の機会を奪わない」の思いから。

「演目によって向き不向きはあるだろうが、配信でも十分に楽しむことが可能。観客からすれば、いま行けない場所ともつながることができると、その意義を語るのは同センターの藤田千史ディレクターだ。

麻生市民交流館やまゆりを拠点とする劇団「ちりりん座」は、公演開催が難しい状況を受けてDVD制作に取り組んでいる。

まず「花の色は移りにけりな」という作品を撮り、続いて「北斎降臨」と題した作品の映像化に取り組んだ。「北斎降臨」は、「やまゆり」を利用するほかのグループとも連携しての制作となっている。DVDは高齢者施設などに寄贈するほか、上映会も開き、YouTubeにも上



「川崎セブンスター」が制作、施設に寄贈したライブのDVD（提供：川崎セブンスター）

げる予定。山浦弘靖代表は、「この状況を逆に生かして、新しい発信方法を見出したい」と意欲的だ。

漫才、歌、ダンスなど多彩な演目を持ち、麻生区でも人気のパフォーマンス集団「川崎セブンスター」も、昨年からライブのオンライン配信をはじめている。

すでに3回の配信を実施。4月29日には、川崎市外ではじめて行う大磯でのライブを配信する。現地開催に加え、オンライン生中継も行うハイブリッド方式だ。配信チケット購入者には、事前に連絡して視聴方法を確認するというきめ細かい配慮も。ライブ映像をDVDにして、これまで訪れた施設に寄贈してもいい。（配信で）実際の舞台の雰囲気やどう伝えるか。それが、これからの大きな課題・宿題になる」と牧野克己副代表。オンライン配信は、演者にとってもやりがいのある挑戦となる。

取材・文 区民記者 佐藤 次郎

取材申込受け付けます!

「活動を紹介して欲しい」「イベントを取材して」
そんな声に区民記者が応えます。

お申込みいただいた内容については、編集会議で可否を検討したうえ、改めてご連絡させていただきます。

●応募条件

麻生区を拠点に活動している。または、麻生区在住・在学・在勤など麻生区に関わる方が活動に参加している。

●申込方法

- ①団体名 ②代表者名 ③連絡先（電話・FAX・メール）
- ④活動内容（イベントの場合は開催日時・料金・内容）を、FAXまたはメールでご連絡ください。

FAX.044-951-6467

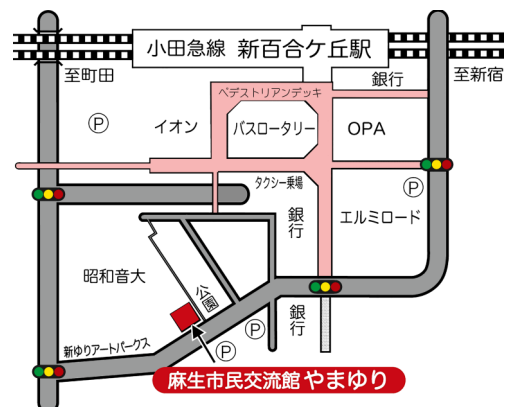
Mail info@asao-ku.net

※但し、選挙、政党・政治団体など政治活動に関わるもの、宗教団体による布教推進を目的とするもの、営利目的の団体・個人、プライバシーの侵害や業務妨害のおそれのあるもの、差別を助長するものは掲載できません。

あさお区民記者

「区民による 区民のための情報発信」を目的に活動。
原則、毎月第2木曜に麻生市民交流館やまゆりで編集会議を行っています。
過去の記事や取材後記はホームページをご覧ください。

<https://www.asao-ku.net>



〒215-0021 神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-5
Tel.044-951-6321 Fax.044-951-6467
URL <https://yamayuri.ne.jp/>
Access 小田急線「新百合ヶ丘駅」南口から徒歩4分